MM.1S

305304

□要

□明

MM.1S □胞株は、多発性骨髄腫（MM）の様々な病期進行とグルココルチコイド（GC）療法に対する反応性を研究す るために、一人の多発性骨髄腫（MM）患者から開発された MM.1 シリーズの一部である。MM.1Sはデキサメタゾンなどのグルココルチコイドに特異的に感受性が高く、多発性骨髄腫 □胞におけるGC誘発アポトーシスのメカニズムを調べるモデルとして役立っている。この感受性の高さから、 MM.1Sは多発性骨髄腫治療の初期段階やGC反応性に至る□胞経路を研究するための重要なツールとなっている。
MM.1S□胞は、他のMM.1株と同様に、偏心した位置に核を持つ丸い □胞や、その多くが二核化または多核化した □胞など、典型的な骨髄腫の形態を示す。これらの□胞はCD38やPCA-1のような形質□胞の特徴的なマーカーを発現するが、 CD19やCD20のような典型的なB□胞マーカーを欠く。また、免疫グロブリンλ軽鎖の高発現を示し、その起源と一致している。この□胞株は、MMにおける薬物作用、抵抗性、アポトーシスの経路を、特に GC治療との関連において探索するために不可欠である。
MM.1Sの重要な特徴の一つは、薬物反応性を機能的グルココルチコイド受容体（ GR）に依存していることである。 MM.1Sでは、高レベルの野生型GRがデキサメタゾンの効果的なアポトーシス誘導を可能にし、このプロセスの根底にある分子事象を研究するための貴重な系を提供している。この □胞株は、MMの治療において重要な問題である GC耐性の機序を調べるために、耐性株であるMM.1Rとしばしば比較される。MM.1S □胞株は、薬剤感受性、疾患の進行、および多発性骨髄腫の潜在的な治療戦略に関する知見を提供する。

ティッシュ	末梢血
病気	多発性骨髄腫

同義語

- MM1.S
- MM1-S
- MM-1S
- MM1S

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	付着状態および浮遊状態
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	リンパ芽球
細胞の種類	B□胞

識別子

引用

MM.1S（Cytion カタログ番号 305304）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_8792

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

発現と感受性

変異プロファイル

変異：KRAS ′ p.Gly12Ala（c.35G>C）、ヘテロ接合体；変異：TRAF3 ′ p.Val536_Asn545delValPheValAlaGlnThrValLeuGluAsninsAsp（c.1604-1630delTCTTTGTGGCCCAAACTGTTCTAGAAA）、ホモ接合体

製品

IgAラムダ

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640 ′ w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10％熱不活性化FBSを添加する。

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

浮遊□胞を15 mlチューブに集め、カルシウムとマグネシウムを欠いた PBSで付着□胞を穏やかに洗浄する（T25フラスコでは3~5 ml ′ T75フラスコでは5~10 mlを使用）。アキュターゼ（T25フラスコでは1-2 ml ′ T75フラスコでは2.5 ml）を、□胞層を完全に覆うように塗布する。□胞を室温で10分間インキュベートする。インキュベーション後、懸濁液と接着□胞の両方を合わせて遠心する。遠心後、□胞ペレットを注意深く懸濁し、□胞懸濁液を新しい培地の入った新しいフラスコに移す。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、□胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10％DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150~-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

寄付者

ドナーの年齢	45年
民族	アフリカ系アメリカ人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

商品詳細

構成表